

私のしごと館概要説明資料

平成20年3月6日
厚生労働省

目 次

1. 私のしごと館の概要	2
2. 私のしごと館設置の経緯	3
3. 施設及びサービスの概要	4
4. 運営体制	7
5. 利用状況	8
6. 利用者の反応	11
7. 海外施設との連携	15
8. 改革の取組	16
9. 独立行政法人整理合理化の経緯	19
参考1. 私のしごと館の財源	20
参考2. 私のしごと館についての主な指摘	21

1 「私のしごと館」の概要

- 主として中学生・高校生を対象に、職業意識の効率的かつ効果的な形成等を図るため、様々な職業体験機会、体系的な職業情報及び相談等をワンストップで提供。
- 早期の段階から若年者の職業意識形成を支援する施設として、キャリア教育等推進プラン※(平成19年5月29日)にも明記。

※キャリア教育等推進会議(青少年育成担当大臣、文部科学大臣、経済産業大臣、厚生労働大臣で構成)決定

- ・ 関西文化学術研究都市(京都府)に、平成15年3月プレオープン、同年10月グランドオープン(平成6年3月用地取得、平成12年2月建設着工)
- ・ 雇用保険料(事業主負担分)及び入館料等で運営
- ・ 建設費 581億円
- ・ 運営費交付金支出額 14.8億円、自己収入額 1.4億円(平成18年度)
- ・ 来館者数 33万人(平成18年度)
- ・ 各事業サービス利用者延べ人数 51万人(平成18年度)

展示・体験事業

関係業界団体等の協力を得ながら、

- ①「職業人として必要な意識・心構え」の理解
- ②「ものづくり」や「サービス」等約40職種の実体験
- ③プロの職業人による実演・実技の見聞、挑戦の機会を提供

機械工作の仕事の体験風景



職業体験や職業適性検査、キャリア・コンサルティング等を組み合わせたコース設定等を通じた連携

個々人の適性に
応じた進路・職業
選択等の実現

職業適性検査・職業情報の提供、キャリア・コンサルティングの実施、セミナーの開催等

2 私のしごと館設置の経緯

平成元年 「若年者等の職業意識に関する懇談会」設置(天谷正座長:(メンバー)学識経験者、労使団体、マスコミ、企業等)
《平成3年報告書取りまとめ》

平成4年 「働きがいと技能尊重に関する有識者懇談会」設置(牧野昇座長:(メンバー)学識経験者、労使団体、マスコミ、企業・業界等)
《平成5年報告書取りまとめ》

平成5年4月 **新総合経済対策決定(経済対策閣僚会議決定)**
公共投資、社会資本整備として、勤労体験プラザ(仮称)構想が具体化

平成5年8月 勤労体験プラザ(仮称)の建設について(記者発表)
(趣旨、設置予定場所、対象者、実施事業の内容等について公表)

平成7年6月 「勤労体験プラザ(仮称)」基本計画策定(記者発表)
(趣旨、設置予定場所、コンセプト、対象者、事業計画、設置効果等について公表。床面積は67,600㎡、年間集客数75万~110万人を計画)

平成7年12月 **第8次雇用対策基本計画(閣議決定)**
職業総合情報拠点として開館準備を進めることが明記

平成9年4月 **関西文化学術研究都市建設促進法に基づく基本方針改訂(内閣総理大臣決定)**
勤労体験プラザ(仮称)の整備推進と情報提供施設としての位置付けが明記

平成11年8月 **第9次雇用対策基本計画(閣議決定)**
多様な職業情報の体系的な収集・提供、様々な体験機会を提供する職業総合情報拠点として勤労体験プラザ(仮称)の設置推進が明記

平成13年5月 **第7次職業能力開発基本計画**
キャリア形成を支援する職業総合情報拠点として「私のしごと館」の開設を推進することが明記

平成15年3月 **プレオープン(床面積35,000㎡)**
10月 **グランドオープン**

3 施設及びサービスの概要

1 施設概要

(1) 運営主体

独立行政法人雇用・能力開発機構

(2) 場所

関西文化学術研究都市(京都府) 精華・西木津地区

(3) 施設規模

敷地面積 83,000m² 建物延べ床面積 35,000m²

※ 帳簿価格(18年度末)

建物及び構築物 310億円 土地18億円

2 サービス内容

(1) 展示・体験事業(展示、職業体験、ワークショップ(常設でない職業体験)、企画展・イベント等)

若年者に職業への動機付けを与えるため、

- ① 「職業人として必要な意識・心構え」の理解
- ② 「ものづくり」や「サービス」等多種多様な職業の実体験
- ③ プロの職業人による実演・実技の見聞、挑戦

の機会を利用者に提供。

※サービス利用者数:286千人(18年度)

※展示・体験事業を利用して参考になったと回答した割合:83%(18年度)

(2) ライブラリ事業(ジョブジョブワールド(約700職種の職業データベース:職業DB)、ビデオ情報)

個々の職業について、その職務内容や必要となる職業能力に関する情報をパソコン及びビデオ等情報通信機器等により提供。

※サービス利用者数:62千人(18年度)

※ライブラリ事業を利用して参考になったと回答した割合:80%(18年度)

(3) 相談・援助事業(キャリア・コンサルティング、職業適性診断システム)

若年者が主体的にその職業生活設計をし、それに基づいて、必要な教育訓練を受けたり、実務経験を積んだりできるよう職業適性診断やキャリア・コンサルティング等を実施。

※サービス利用者数:122千人(18年度)

※相談・援助事業を利用して参考になったと回答した割合:77%(18年度)

(4) 研修・セミナー事業(研修・セミナー)

ア. 若年者に対して、職業に係る自己啓発、職業選択を支援するため、①職業生活設計、②職業選択、③能力開発等をテーマとした各種研修・セミナーを実施。

イ. 若年者を支援する者に対しては、キャリア・コンサルティング等キャリア形成支援に係る知識・技術を付与。

※サービス利用者数:34千人(18年度)

※研修・セミナー事業を利用して参考になったと回答した割合:93%(18年度)

(5) 企画・開発創造事業

「私のしごと館」の各事業に関するニーズ把握、プログラム開発等を実施。

3 開館時間

午前9:30～午後5:00

4 休館日

毎週月曜日(祝祭日の場合は翌日休館。一部開館の日あり。)、年末年始、その他メンテナンス等のため休館あり

5 入館料金・体験料金

○入館料金

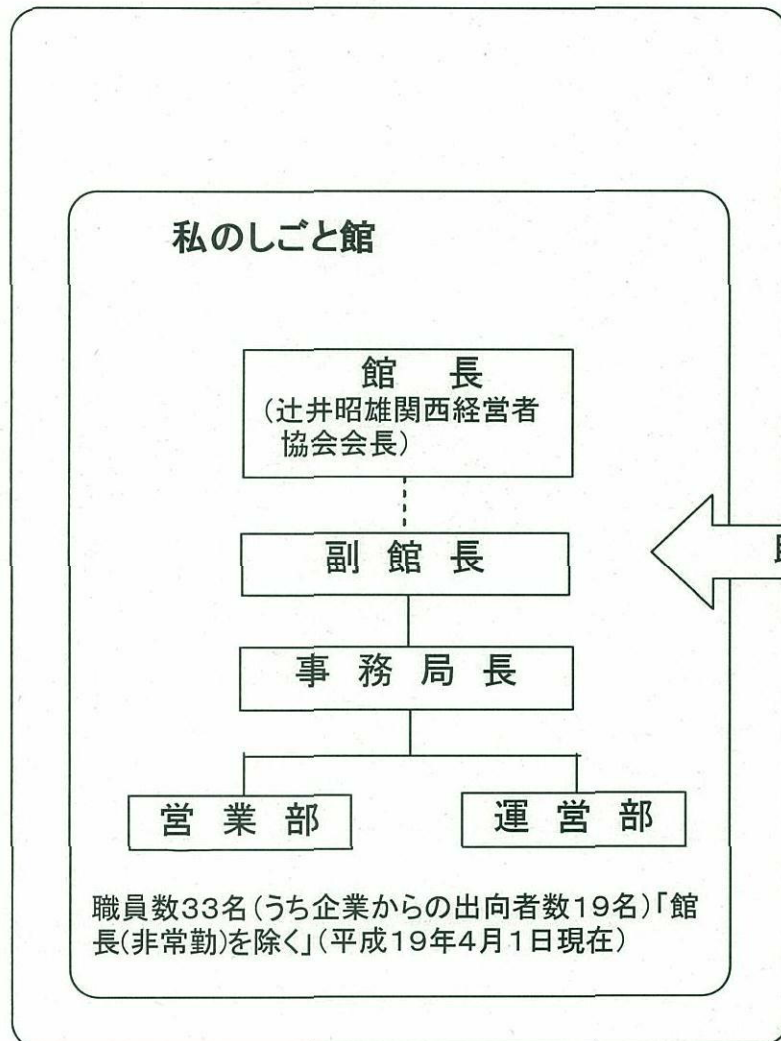
	小学生	中・高生	学 生	一 般
個 人	200円	300円	500円	700円
団 体	150円	250円	400円	550円

○体験料金

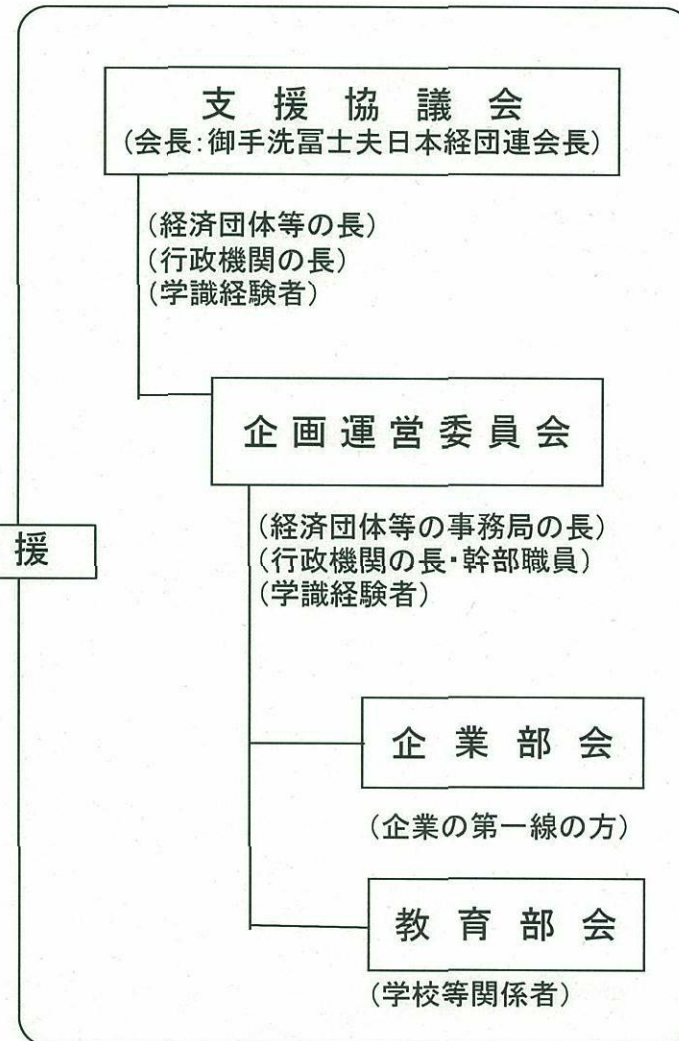
1体験 300円～1,000円

4 運 営 体 制

雇用・能力開発機構



支 援 組 織



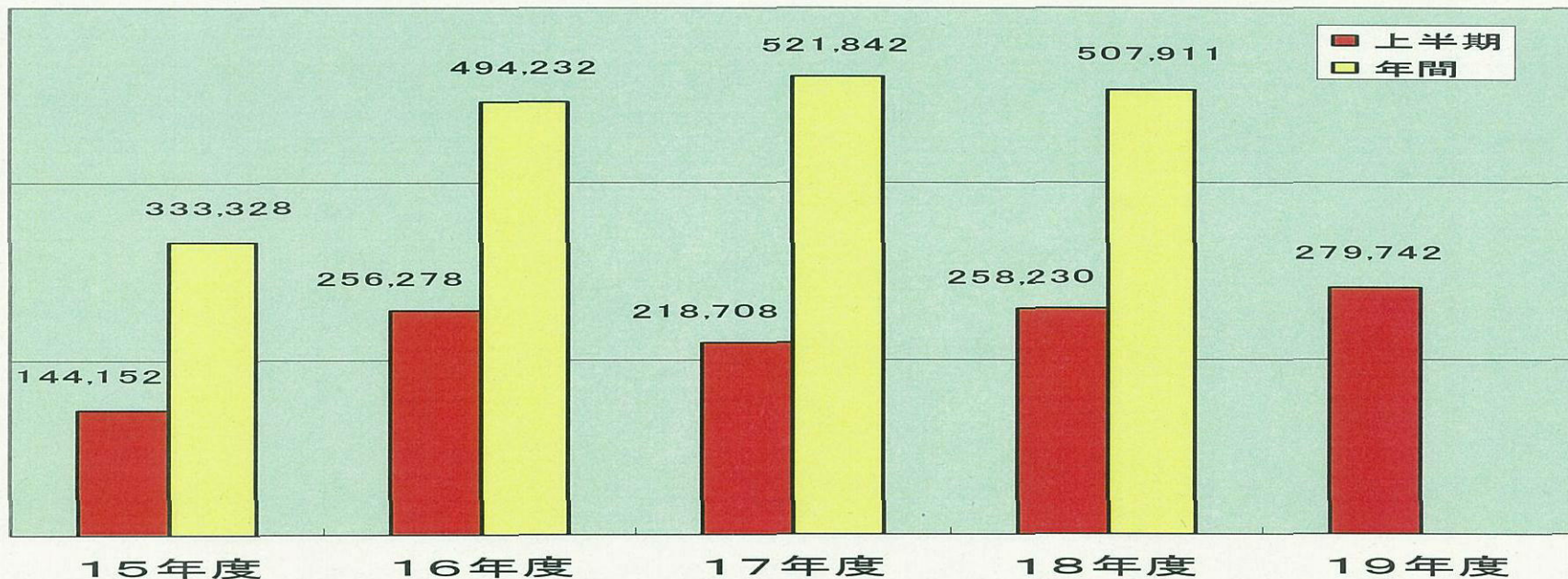
助 言 ・ 支 援

5 利用状況

- 平成15年3月の開館以降、平成19年12月までの生徒・学生を中心とした各事業サービス利用者延べ人数は約229万人（来館者数は約161万人）。
- 学校・教育委員会関係者への誘客、説明会等を実施した結果、平成19年12月末時点の来館予約（平成21年12月まで）は約17万人。（修学旅行シーズンは予約がほぼ満杯）
- 昨年度実施した利用者アンケートによれば、回答者の8割以上から、「さまざまな職業に関心を持つようになった」、「さまざまな職業の理解が深まった」などの高評価。

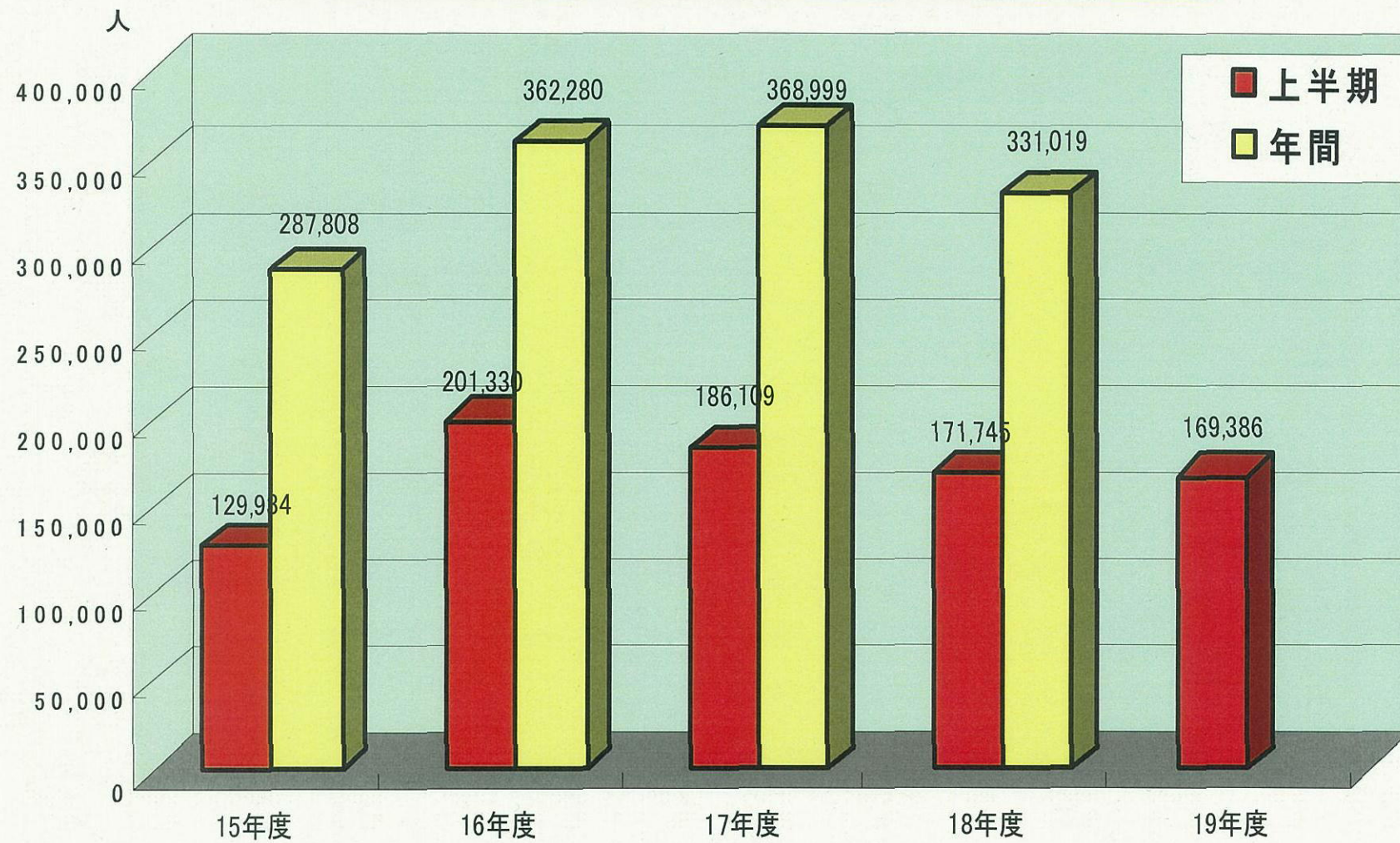
各事業サービス利用者延べ人数の推移

(人)

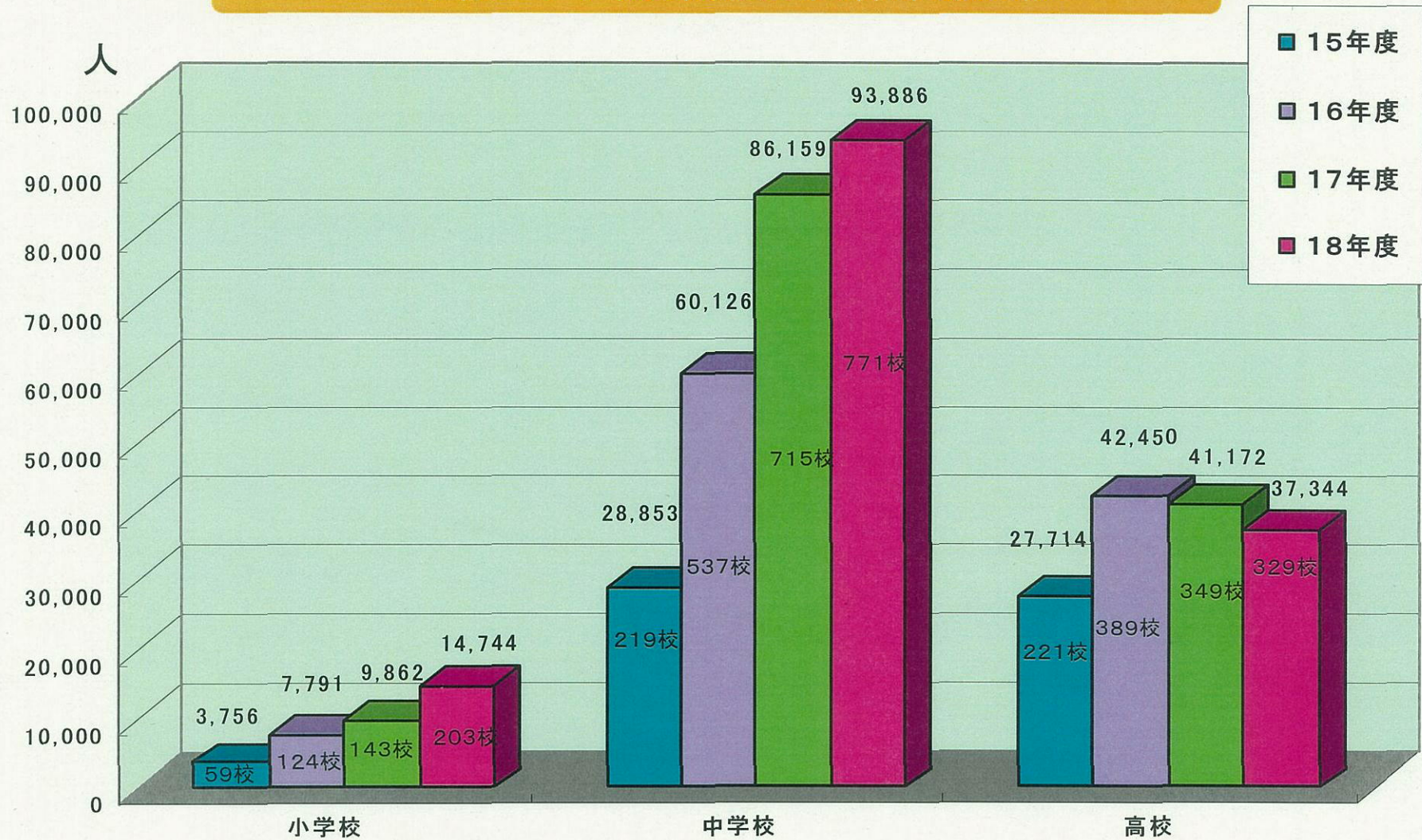


※「各事業サービス利用者延べ人数」とは、展示・体験（展示・体験、ワークショップ、企画展）、ライブラリ（職業DB）、相談・援助（キャリアコンサルティング、職業適性診断）、研修・セミナーの利用者と施設貸与利用者の延べ人数をいう。

来館者数の推移



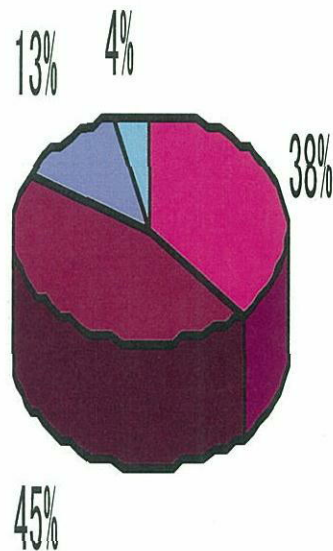
小学校、中学校、高校の団体来館内訳



6 利用者の反応

＜来館者の満足度調査(平成18年度)＞

自分の仕事を考えていく上で参考になった:83%



大變参考になった

まあまあ参考になった

あまり参考にならなかった

参考にならなかった

展示・体験ゾーン利用者のうち参考になったと回答した者の中で多かった回答上位3つ。()はその割合(複数回答)。

- ・さまざまな職業の理解が深まった(57%)
- ・さまざまな職業に関心を持つようになった(55%)
- ・自分の適性、適職を理解することができた(49%)

調査対象:(標本数 3,158人)

・中学生・高校生

展示学習、しごと体験、適性検査及び職業DBのすべてを利用する全校生徒100名以上の中学校・高校をそれぞれ4校を選び協力依頼。

・個人

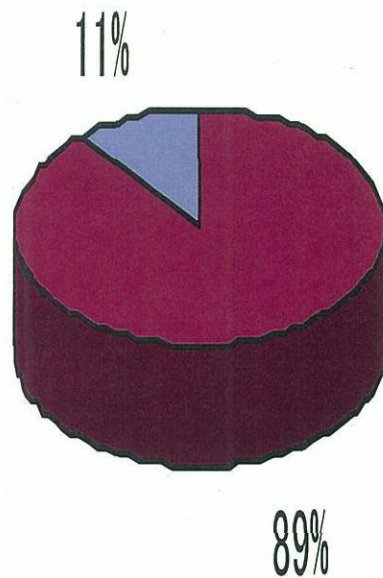
・セミナー利用者

調査方法:利用当日に調査票を配布・回収。

調査回数:年4回(四半期ごと)

<来館3ヵ月後の中高生の職業意識啓発度調査(平成18年度)>

就職職業意識・行動に影響があった:89%



- 就職職業意識・行動に影響があった
- 就職職業意識・行動に影響がなかった

(次の3項目のいずれかで、意識や行動に影響を与えたと回答した割合。()は各質問で影響があったと回答した割合。)

- ・仕事、職業についての考え方に変化があった(79%)
- ・将来に向けて何か行動を起こした(56%)
- ・しごと体験を通じて仕事への理解が深まった(80%)

調査対象: 中学校・高校各10校の生徒 (標本数 3,642人)

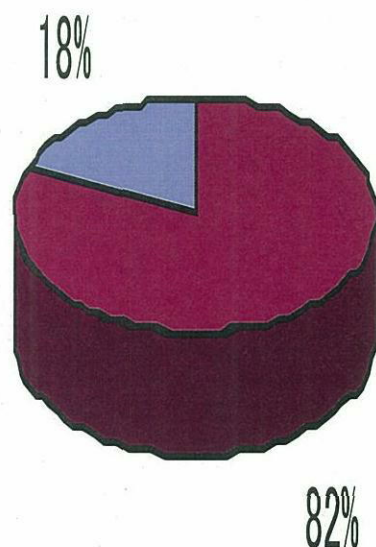
※調査対象は、展示学習、しごと体験、適性検査及び職業DBのすべてを利用する全校生徒100名以上の中学校・高校。

調査方法: 調査票を来館時に引率教員に渡し、約3ヵ月後に回収。

調査回数: 年2回(半期ごと)

＜来館3ヵ月後の求職者の就職への活動影響度調査(平成18年度)＞

就職に結びつく具体的行動を起こした:82%



- 具体的な行動を起こした
- 具体的な行動を起こしていない

(具体的行動の内容として多かった回答上位3つ。()はその割合(複数回答)。)

- ・積極的に求人情報等を調べるようになった(67%)
- ・積極的に職業相談を行うようになった(55%)
- ・求人に応募した(35%)

調査対象:

就職支援機関を通じて「私のしごと館」において就職活動相談を行った求職中の利用者と本調査に同意を得た方
(標本数 197人)

調査方法:

来館時に住所を確認し、約3ヵ月後に調査票を郵送・回収。
回答のない者については、電話での聞き取り調査を行う。

調査回数: 年4回(四半期ごと)

利用者の声

学校行事で利用した生徒の感想

- 実際に新聞記者として働いていた方から直接ご指導いただきました。本物の新聞記者のように取材へ行き、記事にするためのメモを取ったり、取材メモから読み手に伝えたいことを分かりやすく文にしたりとまさに本物の新聞記者の仕事を学べる場でした。
- 職業適性検査のおかげで、考えていなかった職業の適性があることを知り、自分にもっと可能性が広がったような気がしました。

〈中・高等学校からの来館実績〉

(平成18年度)

中学校 771校
高等学校 329校

学校行事で利用した先生の感想

- 実技担当の方から時計作りに懸ける熱い思いや、時計が世の中に果たす役割や仕事人としてのプロ意識を聞かせていただけるなど第一線で活躍する方々の話が聞けることは大変意義深いと思います。
- 職業適性診断や職業データベースを利用することで、子供達の職業観が広がりました。
- 安全と効率の面からも安心して実施することができました。

地域労使就職支援機構における活用

⇒ 労使で構成される地域労使就職支援機構※において、高等学校及び専門学校等と連携して、就職に結びつけるための職業体験学習事業として「私のしごと館」を活用いただいている。

※ 政労使雇用対策会議で合意された「雇用問題に関する政労使合意」(平成14年12月4日)に基づき、地域の労使が雇用改善のための事業を実施するために47都道府県に設置した団体。

鳥取地域労使就職支援機構の例

- 鳥取地域労使就職支援機構においては、若年者を対象に「私のしごと館」で仕事体験研修を行っており、平成19年度も14回予定している。また、往復車中ではビジネスマナー研修等を実施。

7 海外施設との連携

<ILO国際研修センター(場所:イタリアトリノ)>

- ・ 平成18年9月「私のしごと館」を訪れたドゥッチILO事務局官房長が「どの国も持つべき」として、ILOとの連携の提案があった。
- 今後、互いの施設に紹介コーナーを設けるなどの連携を図り、本年度中に同コーナーを設ける予定。

ソンナムシフンタン

<総合職業体験館(仮称)(場所:韓国城南市盆唐)>

- ・ 韓国労働部長官をはじめ韓国政府関係者がたびたび視察し、平成23年に施設規模及び利用対象者がほぼ同様の施設「総合職業体験館(仮称)」の開設を予定。
- ・ 敷地面積は約8万 m^2 、延べ床面積約3.5万 m^2 。
- 今後、「私のしごと館」と「総合職業体験館(仮称)」で相互交流を行う予定。

8 改革の取組

厳しい財政事情を踏まえ、経費削減・自己収入拡大を推進

行政改革推進本部決定(平成18年12月24日)を踏まえ、平成19年度から平成21年度を改革期間とする「私のしごと館」改革実行計画(アクションプラン)を策定し、改革を推進。

アクションプランの改善目標(平成17年度→平成21年度)

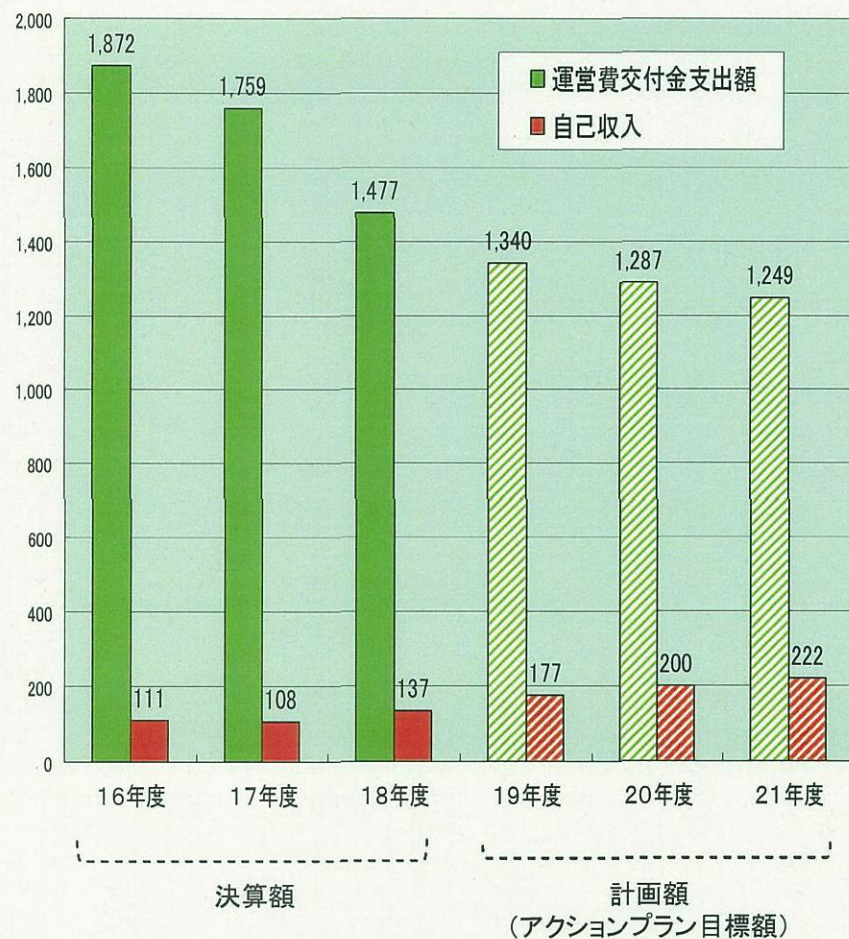
- 各事業サービス利用者延べ人数 52万人→57万人
- 各事業サービス利用者の8割以上から高評価の獲得
- 自己収入額 1. 1億円→2. 2億円
- 運営費交付金に係る支出額 (事業費) 13. 8億円→9億円台
(人件費) 3. 8億円(42人)→2. 6億円(33人)

私のしごと館の運営費(単位:百万円)

区 分	平成16年度決算額	平成17年度決算額	平成18年度決算額	平成19年度予算額	平成20年度予定額	平成21年度要求予定額
運営費	1,983	1,868	1,613	1,517	1,487	1,471
○運営費交付金	1,872	1,759	1,477	1,340	1,287	1,249
・事業費	1,491	1,377	1,181	1,077	1,025	987
・人件費	381	383	296	262	262	262
○自己収入	111	108	137	177	200	222

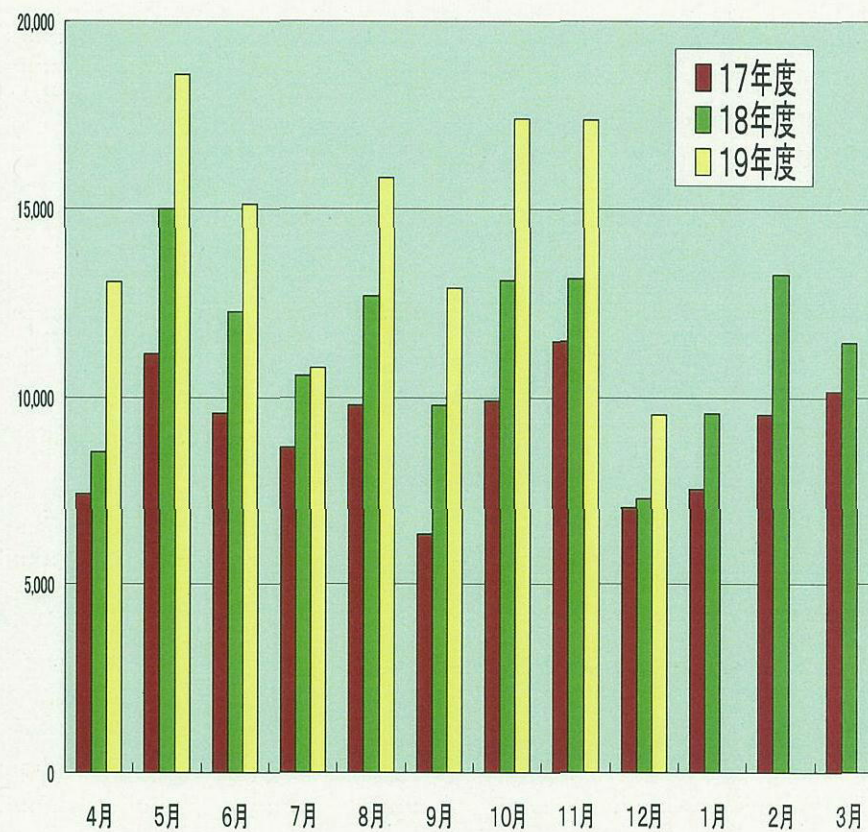
運営費交付金支出額と自己収入の推移

(百万円)



自己収入の月別推移(年度別)

(千円)



9 独立行政法人整理合理化の経緯

- 平成19年 6月19日 「経済財政改革の基本方針2007」閣議決定
- 平成19年 8月10日 「独立行政法人整理合理化計画の策定にかかる基本方針」
閣議決定
- 平成19年 9月26日 行政減量・効率化有識者会議ヒアリング
- 平成19年11月 9日 行政減量・効率化有識者会議フォローミーティング
- 平成19年11月19日 自民党行政改革推進本部ヒアリング
- 平成19年12月 3日 大臣折衝①(厚生労働大臣、行政改革担当大臣)
- 平成19年12月14日 大臣折衝②(厚生労働大臣、行政改革担当大臣)
- 平成19年12月19日 官邸調整(内閣官房長官、厚生労働大臣、行政改革担当大臣)
- 平成19年12月24日 「独立行政法人整理合理化計画」閣議決定**

「独立行政法人整理合理化計画」(抜粋)

- 「独立行政法人整理合理化計画」(平成19年12月24日閣議決定)(抄)

雇用・能力開発機構

組織の見直し

【組織体制の抜本的見直し】

- 私のしごと館については、運営を包括的に民間に委託し、第三者委員会による外部評価を実施し、その結果を踏まえて、1年以内に存廃を含めその在り方について検討を行う。

参考1 「私のしごと館」の財源

「私のしごと館」の運営は雇用保険二事業(うち能力開発事業)として行われており、その財源は全額事業主が負担する保険料

〈参考:平成19年度における雇用保険率について〉

	事業主負担	労働者負担	計
失業等給付のための保険料	6／1,000	6／1,000	12／1,000
二事業のための保険料	3／1,000	なし	3／1,000
計	9／1,000	6／1,000	15／1,000

参考2 私のしごと館についての主な指摘

報道関係

H19. 8. 9 日刊ゲンダイ「赤字垂れ流しの「私のしごと館」」

- ・人形が職業意識向上にどれだけ役立つのか大いに疑問。

H19.10.25 テレビ朝日「スーパーモーニング」

- ・民間でできることを、民間よりコストをかけて、民間以下のサービスで行っており無駄。
建設費は、「私のしごと館」が580億円、「キッザニア」が35億円(17分の1)
運営費は、「私のしごと館」が12億の赤字、「キッザニア」が黒字の見込み

H19.12. 5 TBS「みのもんたの朝ズバッ！」

- ・「私のしごと館」の人形、テレビスタジオ、宇宙船の映像を流しながら巨費を投じている旨のナレーション。

H19.12.20号 週刊新潮「政界蹉跌 四面楚歌」

- ・「私のしごと館」は、毎年20億円の赤字を生み出し、一体300万円もする人形がある。

行革関係会議

H19. 9.26 行政減量・効率化有識者会議(委員の発言)

- ・「私のしごと館」は、過去の有識者会議でも廃止すべきと言われていたが、一部を市場化テストの対象としたにすぎない。明確に廃止と整理すべき。